

6年 龍っ子

テーマ ちょボラから始めよう - いろいろなふれあいを求めて -

概要

年度当初、どんな活動をしてみたいかを全員で考えながら、いくつかのウェビング表をつくってみた。その結果最も多くの支持を得たのは、「いろいろなふれあいをしてみたい」ということであった。その願いをもとに構想したのが「ちょボラからはじめよう」である。「ちょボラ(ちょっとしたボランティア)」という言葉は、いろいろな媒体でよく目にするが、それをキーワードにして、学校内外を問わず自分たちはどんなことができるかを考え実践しながら、新しいふれあいをつくろうと活動を始めた。主な活動では、学校内では「読書の読み聞かせ」や「みんなで遊ぼう」「運動場やプールのそうじ」、「リサイクル活動」などができ、学校外では「保育所訪問」「地下道のそうじ」、「龍満池の水質調査や広報ポスターづくり」などができた。

マジック(手品)をしながらのふれあい

紙芝居とゲーム大会(アニメーションもとりにいれて)



保育所でのふれあい(創作童話やクイズ, ゲームなど)



成果と反省・課題

自ら発案し、仲間を集め、企画し練習したことを試す活動に児童は意欲をもって取り組み、多くのふれあいを得ることができた。また、自分のアイデアを実践することで他の人が楽しんだり喜んだりすることを実感することができた。そして、またそれを味わいたいために、さらなる企画や練習を自主的に積み上げていくようになり、人前での表現力も増していった。しかし、グループの顔ぶれを見ると、普段から親しい者同士の場合が多く見られ、同学年内での新しい人間関係づくりは薄かったように思われた。

児童の願い(主体性)を根幹にし、それを損なわない活動をする中で、教師のねらい(課題性)をいかに組み込んでいくかが今後の大きな課題である。